

日本生殖看護学会ニュースレター

Japanese Society of Fertility Nursing (JSFN)

No.42

目次

・新理事長からのご挨拶	1
・新理事のご紹介	2
・第13回日本生殖看護学会学術集会 ・優秀賞を受賞して	3
・平成27年総会報告	4
・平成27年度予算 ・第10回生殖看護実践セミナーの開催報告	5
・これから行われる学会・研修会情報	6
・勉強会開催のお知らせ ・勉強会の支援と助成 ・理事会報告	7
・学会誌への投稿のお願い ・事務局からのお知らせ	8

新理事長挨拶

理事長 野澤美江子



前期に引き続き、第5期理事長の任を務めることとなりました野澤美江子でございます。1999年不妊看護ネットワークから始まり、2003年に日本不妊看護学会として設立後、今年12周年を迎えました。そして、平成28年8月現在、会員は賛助会員を含め351名となっており、毎年開催される学術集会の参加者も年ごとに増えています。定期的な学術集会の開催や学会誌の発行、看護実践セミナーや地区勉強会を通じた教育的な活動、ニュースレターやホームページ等を含む広報活動等、多くの事業を行ってきています。

生殖補助医療の進歩に伴い、それを取り巻く社会情勢も大きく変化してきました。改めて、生殖看護とは何か、社会ニーズを鑑み学会としてどんな役割を担うべきかを再確認する時期に入ってきたと思います。そこで、本学会として取り組む将来構想を今期は新理事会体制でさらに具現化していく所存です。

1. 生殖看護を定義し、概念化する

生殖看護とは何か、誰を対象とした看護であるのかを共有できる定義が必要です。これは、生殖看護行為を立ち返って確認できるものになると考えます。

2. 生殖看護のコンピテンシー（能力、行動特性）を明確にする

諸外国で活用されている生殖看護教育やトレーニングのフレームワーク等を参考に検討する予定です。

3. 学会活動を見直し、会員の満足が高まるような活動充実をはかる

会員サービスとして、1) 地区勉強会の位置づけを明確化しさらに活発な活動を支援、2) 生殖医療・看護関連の情報発信の在り方を検討、3) 学会誌の電子化を検討、4) 診療報酬における三保連との連携を考えています。

4. 関連職種・関連学会との具体的な連携をはかる

利用者を含む生殖医療に関わる他職種、またその学会等と連携を図りつつ、学会の発展に寄与します。

日本生殖看護学会の目的は、不妊看護の実践家・教育者・研究者の交流を促進し、学術的発展に寄与することにより、個人及び家族の生涯にわたる健康と福祉に貢献することにあります。これからも会員の皆様のご支援をいただきながら、共に支えあい、高めあいながら、生殖看護の発展に努めていきたいと思っています。本学会に対する会員の皆様のご理解とご協力、また活発な参加をくださいますよう、理事を代表してお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

新理事の紹介



副理事長、将来検討委員
上澤悦子氏

引き続き副理事長役割と将来検討委員を新たに拝命しました。理事長を支援し、研究助成の運営と管理、研究促進活動、国内外の情報収集に努め、学会の将来構想も検討します。会員の皆様、共に歩んでいきましょう。



総務
森 明子氏

3年間に少子高齢化、社会経済状態の低迷が加速する一方、医療技術開発、学際化・多職種連携の進展がありました。これらは生殖医療分野にも影響し、生殖看護の責任が益々大きくなってきています。一朝一夕にはできませんが引き続き尽力いたします。



会計
清水清美氏

会計を担当します。皆様の会費が皆様にとって有意義に活用されるよう、明瞭かつ公平な管理及び報告を目指したいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



編集委員
有森直子氏

学会の「顔」となる学会誌の編集委員を担当します。研究はもちろんのこと、活動報告や事例報告など、皆様の投稿をお待ちしております。掲載までの期間の短縮や、投稿のためのお手伝いをしていきたいと思っています。



編集委員
崎山貴代氏

編集委員会を担当する崎山です。質の高い学会誌の発行を通して、生殖看護の発展に努めていきます。また、論文を早く広く社会に還元するための方法も検討していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



実践開発委員
村上貴美子氏

今年度より理事に就任し、実践開発委員を務めることになりました。不妊症看護認定看護師の方々のサポートや不妊症看護に携わる看護職の方々が今以上に質の高い看護実践を行えるよう尽力したいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



教育推進委員
坂上明子氏

教育推進委員会の理事に就任致しました。生殖医療・看護や関連分野についても広く学んで頂けるセミナーの開催と勉強会の支援に努めていきたいと思っています。多くの皆様のご参加をお待ちしています。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



教育推進委員
青柳優子氏

今期、教育推進委員として初めて理事に就任いたしました。生殖看護の実践・研究に役立つ教育活動をサポートし、共に学んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



広報委員
實崎美奈氏

今期も広報を担当させていただきます。ニュースレターを通して会員の皆さまとの情報共有をはかりたいと思います。また関連学会等への広報活動を通して会員数の増加を目指します。どうぞよろしくお願い致します。



監事
村本淳子氏

生殖看護学会はこれまで不妊症看護を中心とした内容でしたが、ここ数年、性と生殖に関する課題まで拡がりを見せ始め、ますます注目される学会となってきています。これからはさらに会員数を増やし、皆で充実した学会にしていきたいと思います。



監事
森 恵美氏

本学会の監事を初めて務めることになりました。監事は業務と会計の監査をするのが役目ですので、本学会がさらに発展するようにこれらの監査をして適正な運営を支援していきたいと思っています。よろしくお願いします。

第13回日本生殖看護学会学術集会 報告 「地域・社会と未来に繋げる生殖看護」

日本生殖看護学会 第13回学術集会会長

定本 幸子（岡山二人クリニック）

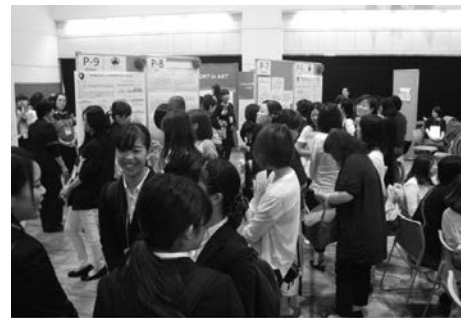
第13回日本生殖看護学会学術集会を、9月13日（日曜日）に岡山にて開催させていただきました。

本学術集会では、メインテーマを「地域・社会と未来に繋げる生殖看護」と掲げ、岡山における地域での取り組みや課題をご紹介しますとともに、私たち生殖看護に携わる看護職が今、何を始めるべきかご検討いただくことを基本にプログラム編成を行いました。

教育講演では、「性教育」および「情報共有」について2題のご講演をいただき、ランチョンセミナー（株式会社パートナーズ共催）においては、「男ごころ：男性の性と生殖」の興味深く貴重なお話を川崎医科大学の永井教授にご講演いただきました。また基調講演は、岡山の地域啓発活動にご尽力されている岡山大学大学院保健学研究科の中塚教授にお願いしました。シンポジウムは、「創ろう！岡山モデル、語ろう！生殖看護」をテーマに、それぞれの分野で活躍する看護職4名をシンポジストに迎え、看護支援や地域連携の課題について、岡山モデルへ向かう意気込みを熱く語っていただきました。

さらに一般演題では、性教育への取り組み、地域への啓発活動、妊孕性に関する支援、長期不妊患者への支援など、まさに日々の看護に直結した幅広い内容の18演題の発表をいただきました。

地方開催であったにもかかわらず、予想を上回る247名の参加をいただきました。「充実した内容で学びとなった」、「活発な地域活動が行われていて参考になった」、「岡山の連携は素晴らしい！」など、企画についてご好評をいただき、一日を通し、ギュッと詰め込みました多くの内容をご参加いただいた皆さまと伴に学ぶことができました。本学術集会にご協力いただきました総ての皆さま、また、ご講演、ご発表頂きました皆さまに厚く御礼申し上げます。今後も「地域・社会と未来に繋げる生殖看護」の実現に向けて努力することをお誓いし報告とさせていただきます。



「第13回日本生殖看護学会 優秀賞を受賞して」

実践報告

IVF 大阪クリニック 小松原千暁

昨年この賞を發足した際には、まさか自分が受賞するなど夢にも思っておりませんでしたので、とても驚き光栄に思っております。今回の発表内容は長期間に渡って不妊治療を継続された方へ患者自身が不安や悩みを話せる環境を提供し、少しの間だけでも患者の気持ちが晴れる事を願って開催しているLaLa Caféのサポートについて検討した実践報告です。会員の方で同じような会をご検討中の方は、お手伝いさせていただきますので是非ご連絡ください。最後に、優秀賞を頂きました事、学会員の方々と当院で一緒に活動している看護スタッフにこの場をお借りしお礼申し上げます。ありがとうございました！

研究報告

東京女子医科大学病院 大場久美子

この度は優秀賞という過大な評価をいただき、大変嬉しく光栄に思っております。このような賞をいただきましたのも、研究協力をしてくださりました保健体育教諭の方々や指導教員である森明子教授のおかげです。この場をお借りして御礼申し上げます。

当日はとても興味深い発表ばかりで、とても刺激を受けました。また本研究「妊娠前教育としての高校生への性教育授業プログラムの開発」における課題も見出すことができました。これからの性教育が発展していけるように今後も研究を続け、精進してまいりたいと思います。

平成27年度 日本生殖看護学会 総会報告

日時：平成27年9月13日(日) 13:30~14:20

会場：岡山国際交流センター、岡山国際会議場

出席者：会場出席者41名、委任状139通（本会会則第18条により総会成立）

議長：定本幸子氏（第13回学術集会長）

【報告事項】

1. **理事会報告（野澤理事長）**
平成26年度開催の理事会（3回）、臨時理事会（4回）について報告。
2. **総務（事務局）報告（森明理事）**
平成27年7月28日現在、会員数は351名。会員管理、関連団体・機関への対応、学会HPの運営と管理、選挙管理事務を実施。
3. **各委員会事業報告**
 - 1) **常任委員会**
 - 実践開発委員会（橋村理事、菅野理事）**
HP上での看護上の相談対応、相談活動のPR、不妊症看護認定看護師の認定後の継続教育の支援、今後の会員の看護職へのサポートのあり方・活性化の協議、相談員派遣マニュアルの修正、相談員派遣を実施。
 - 教育推進委員会（森明理事）**
九州・山陰・関東・関西の4地区の勉強会の支援および助成を実施、勉強会等助成要項を作成。
 - 広報委員会（上澤副理事長、實崎理事）**
ニュースレター39~41号の発行、学会HPへのニュースレター掲載、PR活動を実施。
 - 編集委員会（村本理事）**
学会誌の発行、発行に関する見直しを実施。
 - 将来検討委員会（有森理事）**
国内外の関連学会等の情報収集と発信、研究助成の運営・管理、研究促進活動を実施。
 - 2) **特別委員会**
 - 看保連対応ワーキンググループ（清水理事、森明理事、菅野理事）**
関連他学会との情報交換および連携、選定療養に関する意見のヒアリングと集約、研究計画書（不妊症患者外来相談の実態調査）の提出を実施。
 - 在宅自己注射マニュアル作成ワーキンググループ（森明理事、橋村理事）**
自己注射指導プロトコルの作成を目的とした活動の継続、デルファイ調査の計画・準備を実施。
4. **平成27年研究助成審査結果（有森理事）**
研究助成審査会（平成27年7月29日~8月5日：書面）での選考結果：申請件数：2件、採択件数：2件、審査委員：上澤悦子氏、村本淳子氏、遠藤俊子氏。第4回臨時（書面）理事会で承認。
5. **第14回・第15回学術集会（野澤理事長）**
 - 1) 第14回学術集会：学術集会長は高橋恵美子氏（東北大学病院）、2016年9月11日(日)に東北大学医学部記念会館にて開催。
 - 2) 第15回学術集会：学術集会長は有森直子氏（新潟大学医学部保健学科）、2017年9月9日(土)・10日(日)に新潟大学医学部にて開催の予定。
6. **役員選挙結果（青柳選挙管理委員長）**
第5期理事・監事の選挙結果：選挙人数224名、投票数118名、辞退者4名と繰り上げ当選3名を調整し、12名の当選者を確定。

【審議事項】

1. **平成26年度収支決算ならびに会計監査（清水理事、遠藤監事、岸田監事）**
森明理事（代理）より平成26年度の一般会計及び特別会計の収支決算（案）、岸田監事より監査を執行した結果、適切であったと報告され、会場の挙手により承認。
 2. **平成27年度事業計画案**
 - 1) **学会の将来構想の検討：日本生殖看護学会の将来構想を踏まえた目標（野澤理事長）**
 - (1) 生殖看護を定義し、概念化する。
 - (2) 生殖看護のコンピテンシーを明確にする。
 - (3) 学会活動を見直し、会員の満足が高まるような活動充実をはかる。
 - (4) 関連職種・関連学会との具体的な連携をはかる。
 - 2) **常任委員会**
 - (1) **総務（森明理事）**
個人情報保護法に基づいた会員管理とHPの運営・管理の実施、関連団体・機関への会議出席や学会としての意見提出の実施と拡大。
 - (2) **実践開発委員会（橋村理事・菅野理事）**
HP上での看護上の相談対応、相談活動のPR、不妊症看護認定看護師の認定後の継続教育を支援していくための活動、今後の会員の看護職へのサポートのあり方・活性化の協議、不妊症看護認定看護師の相談員派遣。
 - (3) **教育推進委員会（森明理事）**
生殖看護実践セミナーの開催・勉強会の支援。
 - (4) **広報委員会（上澤副理事長・實崎理事）**
ニュースレターの発行、関連学会等でのPR活動。
 - (5) **編集委員会（村本理事）**
学会誌の発行およびタイムスケジュール。
 - (6) **将来検討委員会（有森理事）**
研究助成関連の運営・管理および活用方法の検討、国内外の情報収集と発信、ケアの質向上への取組み
 - 3) **特別委員会**
 - (1) **看保連対応ワーキンググループ（森明理事）**
看保連の総会・臨時総会等に出席、チーム医療や看護カウンセリングの診療報酬点数化に結び付くエビデンス作りの検討。
 - (2) **在宅自己注射マニュアル作成ワーキンググループ（森明理事）**
デルファイ質問紙調査によるプロトコル案の完成。
- *平成27年度の事業計画案は、会場の拍手により承認。
3. **平成27年度収支予算案（清水理事）**
森明理事（代理）より平成27年度の収支予算案が提示され、会場の挙手により承認。
4. **次期理事長および副理事長**
第4回理事会で次期理事長に野澤美江子氏、副理事長に上澤悦子氏が選出された旨が報告され、会場の拍手により承認。

【その他】

第14回学術集会の告知

高橋恵美子氏（東北大学病院；学術集会長）より第14回学術集会の日程、場所およびテーマを報告。

平成27年度 収支予算書

(平成27年9月1日から平成28年8月31日まで)

日本生殖看護学会

一般会計

収入の部

(単位：円)

大科目	小科目	予算額	備考
会費収入	年会費	2,800,000	350名×8000円
繰越金	前年度繰越金	2,947,810	
収入合計	収入合計 (A)	5,747,810	

支出の部

科目	小科目	予算額	備考
会 議 費	理事会会議費	800,000	往復はがき代
	総会費	50,000	
事 業 費	広報委員会	400,000	ニューズレター発行 セミナー開催 相談委員の派遣 学会誌発行 研究支援 第14回学術集会補助費
	教育推進委員会	130,000	
	実践開発委員会	50,000	
	編集委員会	400,000	
	将来検討委員会	250,000	
	学術集会補助費	200,000	
事 務 費	人件費	350,000	アルバイト (PC 入力・HP 管理)
	通信費	60,000	
	備品費	30,000	
	消耗品費	120,000	
団体登録料	日本看護系学会協議会	80,000	
	看護系学会等社会保険連合	70,000	
	日本カウンセリング学会	10,000	
活 動 費	ワーキンググループ活動	300,000	将来構想検討・看保連・在宅自己注射など
	予備費等	2,447,810	
支出合計 (B)		5,747,810	

特別会計：研究助成金積立金

(単位円)

小科目	予算額	備 考
平成27年度積立金	200,000	一般会計より
平成27年度助成金	200,000	助成2名分予定
前年度までの積立金	650,119	
合計 (A)	650,119	

第10回生殖看護実践セミナー報告

報告：教育推進委員会

9月12日、『生殖ツーリズムの課題と支援』のテーマで、第10回生殖看護実践セミナーが開催された。参加者15名（うち、非会員2名）と、例年に比べて少なかったが、活気あふれるディスカッションが行われた。

セミナーでは、日比野由利氏（金沢大学医薬保健研究域医学系 環境生態医学・公衆衛生学助教）より、「生殖ツーリズムの課題」についてご講演いただいた。ご講演では、自民党の特定生殖補助医療法案や生殖ツーリズムのグローバルネットワーク、インド、タイ、台湾、メキシコ、ジョージア（グルジア）、等における生殖ツーリズムの現状、問題が発生している事例などについて、詳しくご紹介いただいた。

グループディスカッションでは、ご講演で紹介していただいた事例や、参加者が所属している施設の事例への支援のあり方について意見交換を行った。全体ディスカッションでは、各施設で対応に困難をきたした事例、特に、50歳代で第2子以降の妊娠・出産をするために海外で治療を希望する事例が複数紹介された。次子妊娠に関する医療者からの説明のあり方、50歳代で第2子以降を希望する両親の思い、母子の健康管理、生まれてくる子どもの福祉など多岐にわたる内容について意見交換がなされた。

出席者へのアンケートより

- ・海外で行われている卵子提供や代理出産の現状が具体的にわかり、大変勉強になった。
- ・出自を知る権利、知らない権利、治療のリスク、今後の育児に関する情報の伝え方、凍結受精卵が残っていることへの感情など、さまざまな視点から考えることが出来た。
- ・生殖年齢を超えて治療を行うことや、言葉や医療システムが異なる海外で治療を行うことの安全性など、もっと皆でディスカッションが必要だと感じた。
- ・海外で不妊治療を受ける場合の意思決定過程を支援することは非常に重要であり、医療者が海外での治療の現実を十分に知っておくことが必要だと痛感した。



これから行われる学術集会・研修会情報 (2015年11月～2016年2月)

月	日	学会・研修会名	会場	学会 HP / 運営事務局
11月	7日・8日	日本女性医学学会学術集会 (第30回) 「女性医学の未来像を考える」	メルパルク名古屋 (愛知県名古屋市)	http://jmwh30.umin.jp/ 株式会社 MA コンベンション コンサルティング TEL : 03-5275-1191 FAX : 03-5275-1192 E-mail: info@macc.jp
	19日～21日	Asian Oncology Nursing Society 2015 Conference (AONS2015カンファレンス) Flying the Spirit of Asian Oncology Nursing	Seoul St. Mary's Hospital, The Catholic University of Korea (韓国：ソウル)	http://www.aons.asia/confer/main/main.php
	20日・21日	日本糖尿病・妊娠学会年次学術集会 (第31回) 「ウイメンズヘルスケアは小児期から」	リーガロイヤルホテル東京 (東京都新宿区)	http://www.dm-net.co.jp/jsdp/top/2015/11/31.php 株式会社コンベンション・ラボ TEL : 042-707-7275 FAX : 042-707-7276 E-mail: jsdp31@conventionlab.net
	20日・21日	日本がん看護学会 (第30回) 「挑戦するがん看護-未来を拓く研究と実践の融合-」	幕張メッセ (千葉県千葉市)	http://jscn30.umin.jp/ あゆみコーポレーション Tel : 06-6441-5260 Fax : 06-6441-2055 E-mail : jscn30@a-youme.jp
	26日・27日	日本受精着床学会総会・学術講演会 (第33回) 「融合と調和が創る未来」	TFK ホール (東京都江東区)	http://www.procomu.jp/jsfi2015/info.html 株式会社プロコムインターナショナル TEL : 050-3611-2716 FAX : 03-5520-8820 E-mail : jsfi33@procomu.jp
12月	5日・6日	日本看護科学学会学術集会 (第35回) 「先見・叡智・創成-時代を拓く看護-」	広島国際会議場 JMS アステールプラザ 広島市文化交流会館 (広島県広島市)	http://web.apollon.nta.co.jp/jans35/gaiyou.html 西日本 MICE 営業部 TEL : 06-6342-0212 FAX : 06-6342-0214 E-mail : jans35@nta.co.jp
2月	21日	日本生殖心理学会学術集会 (第13回) 「傾聴を科学する」	六本木アカデミーヒルズ (東京都港区)	http://www.jsrp.org/notice/

関東地区勉強会

【日時】平成27年12月13日(日) 13:30~16:00 (13:00~受付)

【場所】聖路加国際病院 旧館5階 研修室A

【テーマ】「着床前診断の現状と課題」～着床前診断を理解し、看護の役割を考える～

【目的】着床前診断は新しい技術であり、その有用性と共に、安全性並びに倫理性を十分に考慮する必要があります。その中で生殖医療に携わる看護師及び医療従事者は正しい知識、現状を理解しておくことが大切です。また、ディスカッションを通して皆さんの生殖医療の豊かな経験や着床前診断の是非に関する意見を共有できる機会としたいと考えています。

【内容】1. 講演 講師：加藤レディスクリニック 臨床遺伝専門医 黒田知子先生
2. グループディスカッション

【参加対象者】着床前診断について関心のある看護師及び医療従事者

【参加費】会員 1,000円 非会員 1,500円 定員80名(先着)

【連絡先】担当 安宅大輝 E-mail daikiatagi@gmail.com

参加ご希望の方は氏名・所属施設・職種・参加区分(学会員・非学会員)連絡先(メールアドレス)を記載し、E-mailにてお申込みください。同施設で複数で参加される場合、所属施設・参加者全員の氏名・職種・参加区分(学会員/非学会員)・代表者の方の連絡先(メールアドレス)を記載し代表者の方がお申し込みください。

なお、申込期限は平成27年11月29日(日)となっております。多くの方のご参加をお待ちしております。

各地区で開催する勉強会の支援

教育推進委員会では、会員が主催する各地区の勉強会を支援したいと考えております。お気軽にご相談ください。勉強会を企画されている代表者の方は、開催日時、開催場所、テーマあるいは内容、連絡先(住所、電話番号、FAX番号、メールアドレス)等下記までご連絡下さい。日本生殖看護学会HPには、勉強会の企画に関する資料が掲載されています。また、日本生殖看護学会のニュースレターやHPにも広報を掲載することが出来ます。

【連絡先】教育推進委員会 担当理事 坂上 明子、青柳 優子 jsfn.edu@gmail.com

勉強会等の運営費の助成

生殖看護の実践に関する勉強会を支援するために、運営費を助成します。助成金は企画1件につき1万円、当該年度の助成は3件までです。日本生殖看護学会HPに、応募資格や応募方法等が掲載されていますのでご覧ください。

理事会報告

第2回臨時(書面)理事会

日時:2015(平成27)年4月24日(金) 場所:書面による。

【審議事項】

1. 日本看護系学会協議会2015-2016年度役員選挙での投票を承認。
2. 入会審査:4名の入会を承認。

第3回臨時(書面)理事会

日時:2015(平成27)年6月4日(木) 場所:書面による。

【審議事項】

1. 入会・退会審査:8名の入会、1名の退会を承認。

第3回理事会

日時:2015(平成27)年8月8日(土) 18時~20時20分

場所:聖路加国際大学本館5階505室

出席者:野澤、上澤、森明、森恵、有森、清水、遠藤、岸田、實崎、菅野、村本、橋村、青柳(選挙管

理委員)、定本(学術集会長)

【報告事項】

1. 第13回日本生殖看護学会学術集会:開催準備の進捗状況。
2. 選挙管理委員会:次期理事・監事の選挙結果。
3. 広報委員会:広報活動、NL42号発行計画。
4. 教育推進委員会:生殖看護実践セミナー(9月12日開催予定)の準備状況。
5. 実践開発委員会:Fine等への不妊相談員の派遣状況および派遣予定。
6. 編集委員会:学会誌(第12巻)発刊、発送の終了。
7. 総務:総務活動状況。
8. 会計・監事:平成26年度収支決算および監査の実施。
9. 看保連対応WG:不妊症指導管理料新設の要望書作成の準備状況。
10. 健やか親子21推進協議会WG:活動テーマのグループ分け調査への回答書を送信。

11. 在宅自己注射マニュアル作成 WG：今後の活動予定。
12. その他（理事長）：将来構想 WG の発足への協力依頼を予定。

【審議事項】

1. 第13回日本生殖看護学会学術集会優秀賞選考：実施および選考方法を承認。
2. 入会・退会審査：2名の入会、2名の退会を承認。
3. 編集委員会：学会誌第13巻作成に関する査読スケジュールを承認。
4. 将来検討委員会：平成27年度研究助成（申請2件）を臨時理事会で審議予定。次回学習会（倫理指針の紹介）の予定。
5. 平成27年総会要綱（案）の加筆修正等。
6. 会計：平成27年度予算案を承認。
7. 第15回学術集会：学術集会長（有森直子先生）および会期（2017年9月9日(土)・10日(日)）を承認。

第4回臨時（書面）理事会

日時：2015（平成27）年9月8日(火) 場所：書面による。

【審議事項】

1. 平成27年度研究助成審査結果：2件の採択を承認。

第4回理事会

日時：2015（平成27）年9月12日(土) 18時～19時25分
 場所：岡山国際交流センター 3階研修室
 出席者：野澤、上澤、森明、森恵、有森、岸田、實崎、菅野、村本、橋村、定本（学術集会長）

【報告事項】

1. 第13回日本生殖看護学会学術集会：準備状況等の最終報告。
2. 教育推進委員会：第10回生殖看護実践セミナーの実施（9月12日）。
3. 実践開発委員会：不妊・不育の電話相談への派遣依頼への対応状況。
4. 将来検討委員会：平成27年度研究助成の承認。
5. 会計：平成26年度収支決算、会計監査および平成27年収支予算（案）。
6. 看保連対応 WG：診療報酬算定要望（不妊症指導管理料）の為の研究活動を検討中。
7. 在宅自己注射マニュアル作成 WG：調査継続の予定。

【審議事項】

1. 入会・退会審査：2名の入会、6名の退会を承認。
2. 平成27年総会要綱（案）および総会進行表（案）の最終確認。

研究論文を学会誌に投稿してみませんか？

あなたは過去に行った研究をそのまま眠らせていませんか？

みなさんが行った研究をぜひご投稿ください。論文の形にする経過でのいろいろな発見（苦勞）も楽しいものです。また、研究にご協力いただいた方に対して、本当の意味で、感謝の気持ちを示すことでもあります。論文投稿に関する質問、ご要望は、いつでも編集委員へお寄せください。

第13巻第1号学会誌の投稿締め切りは、平成27年11月27日必着です。

日本生殖看護学会 編集委員会

事務局からのお知らせ

1. 第14回学術集会、編集委員会への問合せは、それぞれの事務局に直接お願いいたします。日本生殖看護学会への問い合わせ、会員に伝えたい情報、HP、ニュースレターに関するご意見・ご希望等ありましたら、E-mail もしくは Fax で、気軽にご連絡ください。
2. 学会の年会費は8,000円です。会費納入は、できるだけお早めに、金額をお間違えなく、お願い申し上げます。
3. 異動・転居された方は必ず事務局までご連絡願います。ニュースレター、学会誌の送付はメール便を使用しているため、郵便と異なり、転送されません。
4. 会員数351名（平成27年7月28日現在）です。学会の活性化を一層はかるため、生殖看護に関心のある、お知り合いの方にぜひ入会をお誘いください。入会案内および入会申込書は学会ホームページからダウンロードできます。

次号の原稿締切日

ニュースレター第43号の原稿締切日は、2016年1月25日(月)を予定しています。

編集後記

岡山での学術集会は、新たな知見の広がりに加えて桃太郎との記念撮影や名産品も満喫できました。運営スタッフの皆さまに心より感謝申し上げます。来年の仙台も楽しみにしております！

日本生殖看護学会

Japanese Society of Fertility Nursing: JSFN

〒104-0044 東京都中央区明石町10-1

聖路加『国際』大学内

TEL & FAX 03-5550-2293

E-mail: jsin@slcn.ac.jp HP <http://jsin.umin.jp>

口座番号：00170-2-333414

加入者名：日本生殖看護学会